

エンターテインメントでお客様に彩と感動を与えるアビバグループ 加熱式フロアでの紙巻きたばこユーザーの喫煙問題を解決

『スマートミニ』『パーソナルボードマルチ3ダブルスタンダード』『PULITO66』



加熱式たばこ専用エリアに設置した『スマートミニ』。紙巻きたばこユーザーも快適に過ごせる喫煙環境を整えた

神奈川県内でホール16店舗を展開するアビバグループ(横浜市)が、千葉県に初進出した。県内の同一法人から四街道市内と市原市内の各1店舗を事業承継。うち一つを『アビバ四街道店』に屋号変更し、12月27日にグランドオープンした。

総台数777台は、既存店より60台弱増加した。35%だったパチスロ比率は54%(416台)に拡大。パチンコ人気の将来的な再興も見据え、2ボックスには互換島を導入した。

遊技フロア拡張の代償として取り壊した大型の喫煙コーナーに代えて導入した

のは、エルゴジャパンの喫煙ブース『スマートミニ』。加熱式たばこ専用エリアを設ける店内の外側通路に点在させた。

「製品の実績・効果はグループ店で検証済み。省スペースで設置可能なため、設置場所にも困りませんでした。この台数でスタートしましたが、使用率が高いため増設も視野に入れています」と話すのは福田佳充 統括エリア長だ。

紙巻きたばこユーザーにも配慮し、誰でも快適に遊技できる環境を整えた同店。1人用を選んだ理由は、女性でも気兼ねなく利用できるため。喫煙後に占拠されることもなく、稼働時間のロスは最小限に留まっているという。

「昨年から今年にかけて、インフルエンザが大流行しており、1人用なら感染防止対策になります。女性が入りやすいのはもちろん、安心・安全に喫煙できる点もメリット。煙がブース外に漏れることもないので、臭いについてのクレームもありません」

またパチンコ全361台には、台間ボード『パーソナルボードマルチ3ダブルスタンダード』を設置した。

「パチンコの分煙ボードは、もはや標準設備のように考えています。隣席の飛沫対策だけでなく、自席の音にも集中できますから。お客様が快適にご遊技できる環境をどこまで揃えられる



『パーソナルボードマルチ3ダブルスタンダード』と『PULITO66』は、お客様が必要とする快適な遊技環境を実現した

か。それが今後の生き残りにプラスに作用するのであれば、とことん追求したいですね」

その一端は、グループで初めて採用したエルゴジャパンの遊技椅子『PULITO66』にも表れている。

「中心メンバーで、座り心地“テスト”をしました。座面の大きさ、クッションの反発力、背もたれに身体を預けたときのゆとり加減。どれも高評価でした。お客様が必要とする快適な遊技環境を実現する上で、エルゴジャパンはかけがえのないパートナーだと思っています」

グランドオープンは特に、広範な商圏から遊技客が集まる。求められることは、喫煙／非喫煙という軸だけでなく、万人が好ましく過ごせる店内環境。そのすべてに配慮した同店の今後に注目したい。